

エコアクション21 環境経営レポート

(活動期間: 2024年1月～12月)



株式会社 西日本道路設備

2025年 4月 6日作成

目 次

基本理念・環境経営方針	…	1
組織の概要	…	2
実施体制	…	3
環境経営目標	…	4
環境経営計画	…	5
環境経営目標の実績	…	6
環境経営計画の達成状況	…	7
本実施期間の活動例	…	8
次年度の取組計画	…	9
環境関連法規等の遵守状況と違反、起訴の有無	…	10
代表者による全体評価と見直し・指示	…	11

基本理念

株式会社 西日本道路設備は、交通安全施設工事に特化した会社として
安心安全なまちづくりを目指すとともに、すべての事業活動において
環境への影響に配慮し、地域の環境保全と持続可能な地域づくりを図るため、
会社一丸となり継続的に環境負荷の削減に取り組んでいきます。

環境経営方針

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。

- ① 車輛、重機、機械類のエコ運転に努め、燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減します。
- ② 電気・ガス使用量削減を推進し、二酸化炭素排出量を削減します。
- ③ 廃棄物排出量を削減し再資源化の拡大を図ります。
- ④ 節水に努め、水使用量を削減します。
- ⑤ 化学物質使用量を把握し、適正使用の管理に努めます。
- ⑥ 地域環境保全のため、現場周辺等の美化活動を推進します。
- ⑦ 季節に即したクールビズ・ウォームビズを推進します。



2. 環境関連法規制を遵守し、環境汚染防止を推進します。

3. 環境経営方針を定期的に確認し、環境経営の継続的改善に努めます。

4. この環境経営方針は、教育や日常活動を通じて全従業員に周知します。

制定日：2022年8月31日

株式会社 西日本道路設備
代表取締役 亀川陽一

組織の概要

■事業所名および代表者名

株式会社 西日本道路設備 代表取締役 亀川 陽一

■所在地・連絡先

〒841-0084 鳥栖市山浦町2539-15

TEL:0942-83-8100 FAX:0942-83-8311

■環境管理責任者・担当者名

・環境管理責任者 亀川

・担当者 山下

■事業の内容

交通安全施設工事（道路標識・区画線・防護柵など）

〈建設業許可〉

佐賀県知事許可（般-3）第3843号（令和3年12月11日～令和8年12月10日）

土木工事業 塗装工事業 とび・土工工事業

■事業規模

総売上高：321百万円（令和4年度）

資本金：1千万円

従業員数：12名

延床面積：事務所52.5㎡ 車庫133.46㎡ 車両・資材保管庫146.12㎡

■事業年度

1～12月

認証・登録の対象範囲

全組織・全活動

■事業活動

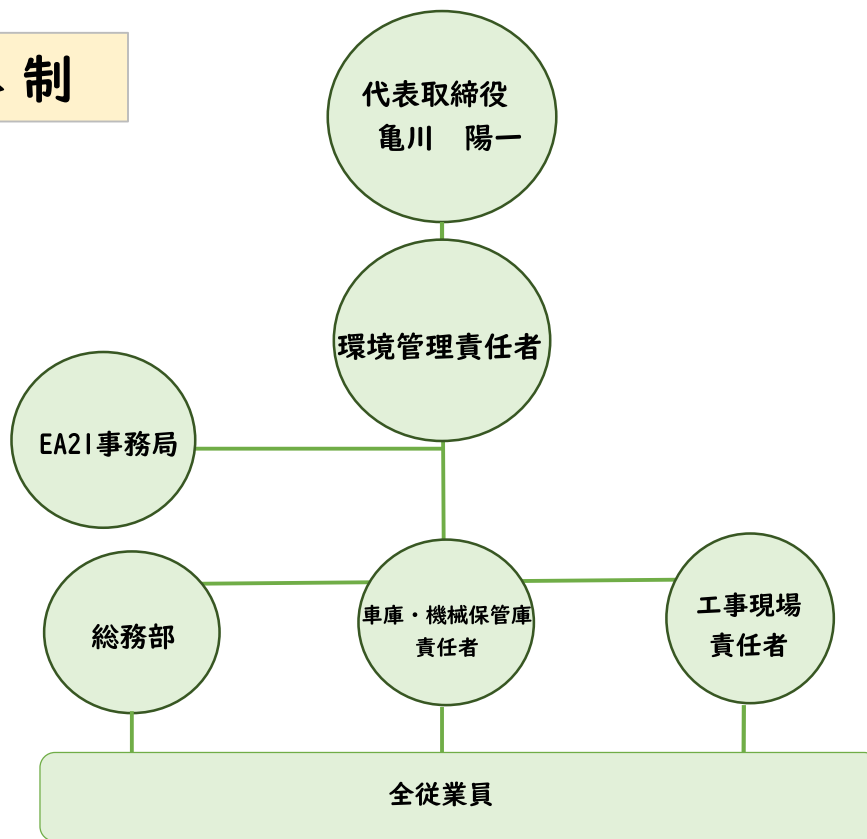
交通安全施設業

■対象事業所

本社

車両・資材保管庫

実施体制



所属	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任者 - 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する - 環境経営責任者、EA21事務局員の任命 - 環境経営及び管理に必要な経営資源（人・モノ・金）の準備 - EA21全体の取組状況の評価、見直しを実施
環境管理責任者	- EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築、実行 - 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成 3か月ごとに環境経営目標の達成状況および環境経営計画の実施状況を確認評価し、結果を代表取締役に報告
EA21事務局	- 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録等、および基礎データの作成・維持・集計・管理を行う - 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
総務部	- 事務所内の環境経営の推進 - 事務所の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況報告
工事現場責任者	- 現場での環境経営の推進、現場従業員への教育訓練の実施 - 現場の環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況報告 - 現場の問題点の発見・是正・予防処置
車庫・資材保管庫責任者	- 車庫・資材保管庫の管理・清掃・整理整頓 - 資材の適正把握
全従業員	- 環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚する - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営目標

活動期間：2024年1月～12月

環境経営目標	単位	基準年 2021年	目 標			
			2022年 (1%削減)	2023年 (2%削減)	2024年 (3%削減)	2025年 (4%削減)
		2021年 1月～12月	2022年 1月～12月	2023年 1月～12月	2024年 1月～12月	2025年 1月～12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	57,555	56,980	56,404	55,829	55,253
(1) 電気使用量削減	kWh	6,902	6,833	6,764	6,695	6,626
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	7,111	7,040	6,968	6,897	6,826
・事務所	ℓ	4,267	4,224	4,181	4,139	4,096
・現場	ℓ	2,844	2,816	2,787	2,759	2,730
(3) 軽油使用料削減	ℓ	10,061	9,961	9,860	9,759	9,659
(4) 灯油使用料削減	ℓ	200	198	196	194	192
(5) ガス使用量	kg	4,040	4,000	3,959	3,919	3,878
2. 産業廃棄物排出量の削減	kg	22,673	22,446	22,220	21,993	21,766
3. 水使用量の削減	m ³	205	203	201	199	197
4. 化学物質使用量		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5. 事故発生件数	件	0	0	0	0	0
6. 苦情発生件数	件	0	0	0	0	0
7. 地域貢献活動の推進	回	12	12	12	12	12

＜備考＞

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度調整後排出係数を使用した。
【リコー電気：0.359kg-CO₂/kWh（本社/事務所） 九州電力：0.371kg-CO₂/kWh（車両・資材保材庫）】
- ・試行期間の目標については季節的要因を考慮し、前年度対象期間実績から1%を削減して定めたもの。
- ・一般廃棄物に関しては、適正処分に努める

環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

- ・空調の適温化を徹底する
- ・パソコン、OA機器を省電力設定にする
- ・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
- ・不要な照明の消灯

③灯油使用量の削減（冬場のストーブで利用）

- ・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
- ・ウォームビズの徹底、ひざ掛け等を利用

②燃料使用量の削減（ガソリン・軽油）

- ・タイヤの空気圧の確認、車両管理（オイル交換）
- ・アイドリングストップ、エコドライブの徹底
- ・急発進、急加速等しない安全運転の励行

④ガス使用量の削減

- ・冬場のお湯の利用削減
- ・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ

2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

- ・使用済みコピー用紙、封筒の再利用
- ・文書電子化の推進
- ・回収ボックスの適正配置、ごみの分別の徹底

②産業廃棄物排出量の削減

- ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
- ・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ

3. 水使用量の削減

①ステッカー等活用し節水を周知する

②食器はため洗いする

4. 化学物質使用量の削減

①丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ

②購入量を把握し、適正に管理する



5. 事故・苦情発生件数 ゼロへ

〈事故〉

- ①緊急時の対応、安全対策等を定期的に周知する
- ②車両、機械の定期点検
- ③従業員の体調管理、アルコールチェック、
報連相の徹底

〈苦情〉

- ①現場近隣住民や通行者への配慮（朝礼等で確認）
- ②作業後の清掃を徹底する

6. 地域貢献活動の推進

①会社周辺の清掃（除草・清掃）

②地域ボランティア活動への積極的な参加



環境経営目標の実績

活動期間：2024年1月～12月

環境経営目標	単位	基準年 2021年	目標 (3%削減)	実績	達成率	評価 (※)
		2021年 1月～12月	2024年 1月～12月	2024年 1月～12月	(%)	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	57,555	55,829	61,564	91%	△
(1) 電気使用量削減	kWh	6,902	6,695	6,608	101%	○
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	7,111	6,897	8,260	84%	△
・事務所	ℓ	4,267	4,139	4,956	84%	△
・現場	ℓ	2,844	2,759	3,304	83%	○
(3) 軽油使用量削減	ℓ	10,061	9,759	11,026	89%	△
(4) 灯油使用量削減	ℓ	200	194	390	50%	×
(5) ガス使用量	kg	4,040	3,919	3,535	111%	○
2. 産業廃棄物排出量の削減	kg	22,673	21,993	17,740	124%	◎
3. 水使用量の削減	m ³	205	198.85	171	116%	○
4. 化学物質使用量		適正管理	適正管理	適正管理	-	○
5. 事故発生件数	件	0	0	0	100%	○
6. 苦情発生件数	件	0	0	0	100%	○
7. 地域貢献活動の推進	回	12	12	12	100%	○

《備考》

- ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度調整後排出係数を使用した。
【リコー電気：0.359kg-CO₂/kWh（本社/事務所） 九州電力：0.371kg-CO₂/kWh（車両・資材保管庫）】
- ・試行期間の目標については季節的要因を考慮し、前年度対象期間実績から1%を削減して定めたもの。
- ※評価基準について…達成率80%以下→× 81～99%→△ 100%～119%→○ 120%以上→◎

環境経営計画の達成状況

1. 二酸化炭素排出量の削減

- | | |
|--|--|
| ①電気使用量の削減
・空調の適温化を徹底する
・パソコン、OA機器を省電力設定にする
・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
・不要な照明の消灯 | ②燃料使用量の削減（ガソリン・軽油）
・タイヤの空気圧の確認、車両管理
・アイドリングストップ、エコドライブの徹底
・急発進、急加速等しない安全運転の励行 |
| ③灯油使用量の削減（冬場ストーブに利用）
・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
・ウォームビズの徹底、ひざ掛け等を利用 | ④ガス使用量の削減
・冬場のお湯の利用削減
・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ |

▼ 達成状況

昨年度に引き続き、社内での節電、移動時のエコ運転を意識するなど、社内一丸となって取り組むことができました。エコドライブについてのリーフレットを各車両に備え付けることにより、エコドライブについて再度意識を高めることができました。しかし、年間を通して、遠方で工事を行うことが多く、長距離移動によりガソリンや軽油の使用量が増加しました。

2. 廃棄物排出量の削減

- | | |
|---|--|
| ①一般廃棄物排出量の削減
・使用済みコピー用紙、封筒の再利用
・文書電子化の推進
・回収ボックスの適正配置、ごみの分別の徹底 | ②産業廃棄物排出量の削減
・manifestの管理、保管、適正処理の確認
・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ |
|---|--|

- ①コピー用紙の裏紙や封筒の再利用を徹底できました。また、ペットボトルや缶は分別し綺麗に洗ってリサイクルしました。
- ②引き続きmanifest管理、保管を行っています。

3. 水使用量の削減

- ①ステッカー等活用し節水を周知する
- ②食器はため洗いのする

食器を洗ったり、洗濯を行う際もできるだけ“ため洗い”を行い節水を心掛けました。

4. 化学物質使用量の削減

- ①丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ
- ②購入量を把握し、適正に管理する

ミスや苦情により再工事を行わなくて良いよう、丁寧な施工を心掛けました。また購入量については必要分だけ購入し、適正に管理できています。

5. 事故・苦情発生件数 ゼロへ

- 〈事故〉
- ①緊急時の対応、安全対策等を定期的に周知する
- ②車両、機械の定期点検
- ③従業員の体調管理、アルコールチェック、
報連相の徹底
- 〈苦情〉
- ①現場近隣住民や通行者への配慮（朝礼等で確認）
- ②作業後の清掃を徹底する

事故・苦情等が起きないよう、朝礼・終礼等では注意事項を確認したり、出勤時・退勤時のアルコールチェックを徹底するなど事故防止に努めました。

また、現場では地域の方々や通行人等に注意するため、ひとりひとりが視野を広く持ち、作業後には作業前よりも現場を綺麗にして帰ることを意識して取り組んでいます。

6. 地域貢献活動の推進

- ①会社周辺の清掃（除草・清掃）
- ②地域ボランティア活動への積極的な参加



会社周辺の除草作業や、会社の花壇に季節の花を植えるなど、美化活動に取り組みました。

また、ボランティア活動に参加し、佐賀市内のゴミ拾いを行いました。

活動例

空き缶、ペットボトルは分別後
綺麗に洗ってリサイクルしています



全従業員で佐賀市内の
ゴミ拾いに参加しました



常に丁寧、迅速な施工を心掛け、環境負荷低減に努めています。

次年度環境経営目標・計画

来期においては、以下の計画を継続して行う。
また、ガス使用量、産業廃棄物排出量の削減については、工事内容による増減が激しいため丁寧かつ迅速な施工を心掛けるなど最大限の努力を行う。

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ①電気使用量の削減
 - ・空調の適温化を徹底する
 - ・パソコン、OA機器を省電力設定にする
 - ・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
 - ・不要な照明の消灯
- ②燃料使用量の削減（ガソリン・軽油）
 - ・タイヤの空気圧の確認、車両管理（オイル交換）
 - ・アイドリングストップ、エコドライブの徹底
 - ・急発進、急加速等しない安全運転の励行
- ③灯油使用量の削減（冬場のストーブで利用）
 - ・外気熱の遮断（カーテン等の活用）
 - ・ウォームビズの徹底、ひざ掛け等を利用
- ④ガス使用量の削減
 - ・冬場のお湯の利用削減
 - ・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ

2. 廃棄物排出量の削減

- ①一般廃棄物排出量の削減
 - ・使用済みコピー用紙、封筒の再利用
 - ・文書電子化の推進
 - ・回収ボックスの適正配置、ごみの分別の徹底
- ②産業廃棄物排出量の削減
 - ・マニフェストの管理、保管、適正処理の確認
 - ・丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ

3. 水使用量の削減

- ①ステッカー等活用し節水を周知する
- ②食器はため洗いする
- ③洗車前に車の泥を落とす

4. 化学物質使用量の削減

- ①丁寧な施工を心掛け、再工事を防ぐ
- ②購入量を把握し、適正に管理する

5. 事故・苦情発生件数 ゼロへ

〈事故〉

- ①緊急時の対応、安全対策等を定期的に周知する
- ②車両、機械の定期点検
- ③従業員の体調管理、アルコールチェック、
報連相の徹底

〈苦情〉

- ①現場近隣住民や通行者への配慮（朝礼等で確認）
- ②作業後の清掃を徹底する



6. 地域貢献活動の推進

- ①会社周辺の清掃（除草・清掃）
- ②地域ボランティア活動への積極的な参加



環境関連法規等の遵守状況と違反、起訴の有無

法規制等の名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・マニフェストの管理、保管（5年間） ・現場保管、仮置き場における適正な管理	○
オフロード法	・適合証明の確認 ・定期検査（年1回・3年保存）	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	・排出ガス対策型建設機械であることの確認	○
消防法	・火災予防に必要な措置をとる	○
家電リサイクル法	・特定家庭用機器を処分する際の適正な処分、処理料金の支払い	○
自動車リサイクル法	・廃車時における適正処理とリサイクル	○
佐賀県環境基本条例	・公害防止 ・廃棄物の適正処理 ・再生資源や環境負荷の低減に資する原材料、役務の利用	○
鳥栖市環境基本条例	・環境への負荷の低減その他の環境保全に自ら積極的に努め、市が実施する環境保全に関する施策に協力する	○

当社に適用される環境関連法規及び条例の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係当局からの違反などの指摘、利害関係者からの訴訟もありません。

2025年4月6日
株式会社 西日本道路設備

代表者による全体評価と見直し・指示

1. 見直し結果・指示

項目	変更	評価・コメント
① 環境経営方針	有・ 無	策定時から状況変化はなく変更の必要なし
② 環境経営目標	有・ 無	策定時から状況変化はなく変更の必要なし
③ 環境経営計画	有・ 無	策定時から状況変化はなく変更の必要なし
④ 実施体制	有・ 無	現行の実施体制を維持する
⑤ その他の環境経営システム	有・ 無	特に問題はなし



2. 総評

今年度は、年間を通して遠方での工事を行う機会が多くあり、工事作業や打合せ等で長距離移動をしなければならず、ガソリン・軽油の使用量が増加してしまいました。我々の職種では、工事現場の場所や期間、内容が燃料等の使用量の増減に大きく影響します。そのため、これからも丁寧に迅速な工事を地道に行っていくことで、無駄な資材や燃料による環境負荷の軽減を目指していきたいと思っております。

環境経営目標の内容に関しては、達成できていないものもありましたが、電気や水道を小まめに消したり、エコドライブを意識するなど、ひとりひとりが少しずつ意識することで変えられる部分もあると思います。それぞれが自分事として取り組んでいけるよう、次年度においても活動していきたいと思っております。

代表取締役 亀川陽一